



雪の日

薦 唐丸

(水墨画・書篆)

利用のエタノールは
世界中の流れ
たった感がある
様々な面でひ
きたようであ
れ

が二ニンジンやコーン（オニオン）やトマト等の高純度ソースによつて糖や工芸物質へ加水分解される。最近では、放

車普及事務局長 招く日は、ルギー環境シンクタンクが、生産量のほぼ半分となるトヨモト社による。一方で、2000年頃から急速に高騰などで危機感が高まっている。そこで、この問題を解決するため、日本政府は、エネルギー研究所が、物価格急騰の恐れになり、ルーキーに向けになり、

食糧危機とエネルギー

D M E 自動車普及推進委員会事務局長
若狭 良治

輸出の4分の1が米ロコシといふ。同レスター・フレンチトウモロコシの不足などとのほか穀物の需要拡大につながり、穀物全体の価格が急騰する。牛乳や卵、肉などにつきコシ飼料を用い酪農品の価格も上がる。

では自動車の
も増えてきて
し、飼料自給
本へさまざま
とに警鐘を鳴ら
態は予想
トウモロコシ
飼料ペーパー¹
事態は大変
んでもいるよう
われていたエ
話が50%に拡
遊げせること
とを考えること
の処理能力を

資源作物
持つ生産設備を大し、それだけ来年にも本格化しない。つまり、トモロコシの生産は、まだ25%である日本で、資源作物としての需要が現状で空き進んでいる。

か確立した和三のナリロースとヘミセルロースを酵素で効率良く分解し、糖を发酵してエタノールを作る技術も紹介している。

大成建設や丸紅が貢献するバイオエタノール・ジャパン・関西は9年までに建築廃材を酵素で糖に分解する手法でエタノール生産に乗り出す。酵素法の採用でセルロースも分解できるようになり、エタノール生産効率は大幅に向かうというのだが、本当にいざれにしても、日本農業新聞論説(07年2月5日付)は、諦めにも似た表現をしている。

「我が国は、毎年一千万トンを超すトウモロコシを米国か

表示	重 量	ラベルの色
SS	40g≤ 卵 <46g	茶
S	46g≤ 卵 <52g	紫
MS	52g≤ 卵 <58g	青
M	58g≤ 卵 <64g	緑
L	64g≤ 卵 <70g	ダイダイ
LL	70g≤ 卵 <76g	赤

王なハイオスマ人資源

- ・産業される紙
 - ・家畜排せつ物
 - ・食品廃棄物
 - ・建設発生木材
 - ・製材工場残材
 - ・黒液(パルプ工場廃液)
 - ・下水汚泥

廃棄物系バイオマ

- | | |
|---------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ●黒液(パルプ工場廃液) ●下水汚泥 ●し尿汚泥 ●糞わら、麦わら ●木チップ |
| 主利用ばくさく | |

本节由刀豆文库

- 資源作物 飼料作物
資源作物 でんぶん叢作物 等

ノールの導入と開発に力を注ぎ、それを受けて、北海道アグリーポートでは、規格外小麦や砂糖生産に向かない甜菜（砂糖大根）からエタノールを作るプロジェクト建設が決まった。一方五千㌶を自指している。

農水省は、「国内農業生産が縮小しないことがバイオエタノール事業のポイント。肥料に入らない作物を植え、収穫した作物は米の10分の1以下の価格となるが、農村再生をハイオエタノールで実現する」（農水省環境政策課）と説明している。

また、ハードバイオマス（木材）を原料とした燃料用工場を生産する世界初の「トヨタ」が16日、大阪府茨木市に完成した。堺の商用地

感じる次第である。
そもそも「カーボンニュートラル」という幻想。CO₂循環する植物を利用すれば、根本的に生まれてきていると目的に生まれてきていること。誤った考え方根本にあり。耕作地、収穫地、加工地で選択する手段はすべて化石燃料に依存しているという当たり前の話を無視し、あえて、ひとみない振りをして進めてくるとの恐れなど、世間のムードの進行といふ様々なな事が、これのことを見み出しているのことは生み出されることは明白だ。
いわゆる「かくはん」を落ち着けて、じっくりと論ずることではないただうつす論議である。